



事業紹介

私どもは「ろう者と聴者の架け橋となること」を目指して 2010 年に総合情報雑誌『デフライフ・ジャパン』を創刊し、この 6 月で創刊 2 年半を迎えました。

このほど、より多くの方々にろう者のことを知っていただき、日本のろう社会の更なるステップアップを目指して株式会社を立ち上げましたので、各事業を簡単にご紹介いたします。

私たちのミッション

- ・ろう者と聴者の架け橋となること
- ・障害のある無しにかかわらず、力を発揮でき、互いに尊重しあう共生社会を創造すること
- ・ろうの子どもたちに、世の中で活躍している大人のろう者がいることを伝えて将来の夢を与えること

主な事業

1. 『デフライフ・ジャパン』誌の発行（隔月）
2. デフ・スタディーズ・アカデミー（日本手話とアメリカ手話、その他英語などの教室）
3. デフ・ユース・アカデミー（小学生以上のろう児向けの学習塾）
4. 手話イベント（年間約 30 回の各種イベント）

1. デフライフ・ジャパン誌 (Deaf Life Japan magazine)

日本で初めてろう者が編集・発行する総合情報雑誌。アメリカで創刊 27 年になる『デフライフ』誌初の外国版で、創刊は 2010 年 1 月です。アメリカ『デフライフ』の編集長、マシュー・S・ムーアと、現『デフライフ・ジャパン』編集長の佐藤八寿子が 2007 年に出会い、発行が実現しました。副編集長的那須英彰は、NHK「手話ニュース 845」のキャスターです。日本版に続き、2011 年『デフライフ・フィリピン』が、2013 年には、『デフライフ・カナダ』が創刊する予定です。

2. デフ・スタディーズ・アカデミー (Deaf Studies Academy)

ネイティブ(ろう者)から日本手話やアメリカ手話を学ぶ手話教室です。クラスはレベル別に 5 段階に分けています。レベル別クラスに加え、通常の手話教室では見かけない、「年配ろう者の手話を読み取るクラス」も行っています。マンツーマン、少人数グループで、ニーズに合ったカリキュラムでの指導も行っています。今後は、日本手話とアメリカ手話に加え、新しい試みとして「ろう者向けの英語教室」の開講いたします。将来的には手話通訳者の派遣や、日本とアメリカ両方の手話を習得して国際会議などの場で活躍できる人材の育成を目指しています。



3. デフ・ユース・アカデミー (Deaf Youth Academy)

ろうのお子さんひとりひとりに合ったコミュニケーション方法で学べる学習塾です。ろう者にとって手話が第一言語であるにもかかわらず、口話教育が中心に行われているろう学校では、理解できないことがあっても質問しづらいお子さんがいます。また、聞こえに障害を持ちながら聴者向けの一般教育を受ける中で、勉強やクラスの雰囲気になじめず葛藤を抱えるお子さまもいます。そのため中学校入学以降、特に国語(書記日本語:読み書きのための日本語)や英語、そして数学に遅れが目立つようになり、それが勉強への意欲が失われる原因となっているケースが多くみられるのです。デフ・ユース・アカデミーでは、その遅れがちになるポイントを的確にとらえ、補習し、さらに伸ばしていくことを目的としています。スタッフ自身も、ろう者やろうの子どもをもつ親です。ご家族の困りごとや悩みは、私たちが経験してきたこと、現在進行形で解決をめざしていること。ですからどんなことでもご相談いただいて、日々の生活に即した形で親身にお話ししています。

4. 手話イベント

毎月 2 回金曜日の夜に行うレクチャーイベント「フライデーナイト・ライブ」をはじめ、週末の講演シリーズなど、年間 30 回ほどのイベントを開催しています。テーマは、東日本大震災や防災、軍艦島、北朝鮮、ろう者の歴史や渡米体験などさまざまなジャンルの企画を集め、できるだけ多くの人々に足を運んでいただけるよう心がけています。今年の 12 月初旬には、東京都聴覚障害者連盟様と東京都手話通訳問題研究会様の後援、日本福祉教育専門学校様のご協力で手話通訳歴 40 年で現役のプロ手話通訳者の方をアメリカからお招きし、5 日間連続のレクチャーシリーズを行う予定です。

以上

<お問い合わせ先>

デフライフ・ジャパン株式会社 担当: 松下 玲子

TEL: 03-6434-0746, FAX: 03-6434-0847, Email: contact@dljco.jp

Website: <http://www.deaf-life-japancompany.jp>, Facebook: <http://www.facebook.com/deaf-life-japan>

151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 3-3-1 TH1 ビル 5F

(東京メトロ 副都心線北参道駅より徒歩 2 分、JR 原宿駅、代々木駅、千駄ヶ谷駅より徒歩 10 分)

※電話対応可能な聴者スタッフが限られているため電話がつながりにくい場合があります。恐れ入りますがご了承ください。